

北野 大 氏 エネルギー講演会

開催報告書

主催	(一社) 北海道商工会議所連合会 北海道エネルギー対策協議会
共催	北海道エネルギー基本問題懇談会 エコロジア北海道21推進協議会
後援	北海道経済連合会 エイチ・イー・エス推進機構

1 開催概要

(一社) 北海道商工会議所連合会および北海道エネルギー対策協議会では、会員企業はじめ道民のみなさま方のエネルギー問題と地球温暖化問題に対する知見向上の一助として頂きたく、淑徳大学人文学部教授で環境化学・安全学がご専攻の「北野 大」先生をお招きし、「地球環境を救う新しいライフスタイルへ」と題したご講演をいただきました。

<概 要>

名 称	北野 大氏 エネルギー講演会
テーマ	地球環境を救う新しいライフスタイルへ
日 時	平成 28 年 11 月 16 日 (水) 13:30~15:00
会 場	ホテル 札幌ガーデンパレス 2階「孔雀」
入場料	会員無料 (一般: 2,000 円/人)
参加者	122 名 (一般参加者 3 名含)

2 講演要旨

「地球環境を救う新しいライフスタイルへ」と題し、地球環境・エネルギー問題に係るわかりやすいご解説をいただきました。

特に、会場の参加者への問いかけと、回答者へのサイン付き著書などのプレゼント、実弟のタレント・ビートたけしさんのエピソードなどを交えた軽妙なお話しに、参加者はすっかり魅了されておりました。

○ 人口爆発と環境・エネルギー問題

20世紀は「人口爆発の世紀」である。19世紀は、100年間で人口が6億人増加（10億人→16億人）したが、20世紀には44億人増加（16億人→60億人）した。これにより、資源・エネルギーの枯渇と気候変動をもたらした。

（資源・エネルギーの枯渇）

- ・石油や石炭などの化石燃料は、燃えると全く違う物質になり、元には戻らない（不可逆反応）ため、枯渇する。
- ・鉄やリンなどの鉱物は、理論的には元の物質に戻るが、今の技術と経済水準では不可能である。よって枯渇する。

（気候変動）

- ・「気象」とは、寒かった、気温が何度だったなど、その日その日の天気の状態をいう。「気候」は1万日分（約30年）の「気象」の平均的な値をいう。
- ・「気候変動」とは、この「気候」が変動している（温暖化している）ということ。地球の気温の平均は約15℃であるが、過去100年で約0.74℃上昇した。
- ・温暖化の原因は温室効果ガスの増加である。温室効果ガスとは、世界的には6割が二酸化炭素であるが、日本では9割である。よって、日本の温暖化問題とは、エネルギー問題とイコールである。

○ エネルギー利用の歴史

人類は歴史の中で、様々な形のエネルギーを利用してきた。①～④は地上の太陽（今の太陽）を利用してきたが、⑤は地下の太陽（昔の太陽）を利用している。つまり、もとを辿れば全て太陽からのエネルギーである。

⑤により、人類は莫大なエネルギーを得ることが出来た。エネルギーを使うことで、時間の短縮が可能となった。しかし、それにより大気汚染や地球温暖化などを引き起こすことになった。

- ① 「火」の利用 … 約50万年前
（太陽で出来たまき（植物）を利用）
- ② 「農耕」の開始 … 約1万年前
（太陽エネルギーを意図的に利用）
- ③ 「水車」の利用 … 約2,200年前

(形を変えた太陽エネルギーの利用。太陽熱で水が蒸発し雨となり川ができる)

④ 「風車」の利用 … 約 1,300 年前

(形を変えた太陽エネルギーの利用。太陽熱により気圧差が出来て風が生じる)

⑤ 「化石燃料」の利用 … 18世紀から

(石炭は昔の植物が高温高压で炭化したもの。石油は海中のプランクトンが高温高压で液化したもの。)

○ エネルギーを見る視点

これからのエネルギーを考えると、4つの視点「価格(安いこと)」「安定(安定的に供給されること)」「枯渇(なくなるしないこと)」「環境(環境負荷が少ないこと)」が必要であるが、この4点すべてを満たすエネルギーは存在しない。

石油は安いし安定しているが、枯渇の恐れがあり、かつ温暖化の原因にもなる。太陽光などの再生可能エネルギーは枯渇しないしクリーンであるが、高価であり、安定供給も課題となっている。

よって日本では、「ベストミックス」、つまりさまざまなエネルギーを組み合わせることとした。原子力発電を基幹エネルギーとし、その他化石燃料によってエネルギーを創ってきた。

しかし、福島で事故で変わってしまった。経済性を考えると、これからは原発を使用することが必要である。今の原発を使用するのであれば、注意深く安全第一に、フェイルセーフ型としなければならない。

○ 新しいライフスタイルへ

今まで私たちは、「物」の豊かさを求めてきたが、これからは「物 + 心」の豊かさの時代である。「心」の豊かさとは、「生きがい」であると考えている。「生きがい」とは、「感動すること」と「感謝されること」から生じる。

感動するためには、「小欲知足」、つまり「足る」を知ることが重要である。幸福感を数式に表すと、「幸福感 = 財 / 欲求」である。「足る」を知れば、今の財で十分幸福感を味わえるし、欲求が大きくなれば幸福は得られない。

温暖化とはエネルギーの問題、エネルギーとは消費の問題でもある。「足る」を知る新しい価値観を持つ必要がある。

<講演状況>

